TOTO ポップアップ式排水金具施工・取扱説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後はお客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを⚠注意の表示によってお知らせしています。

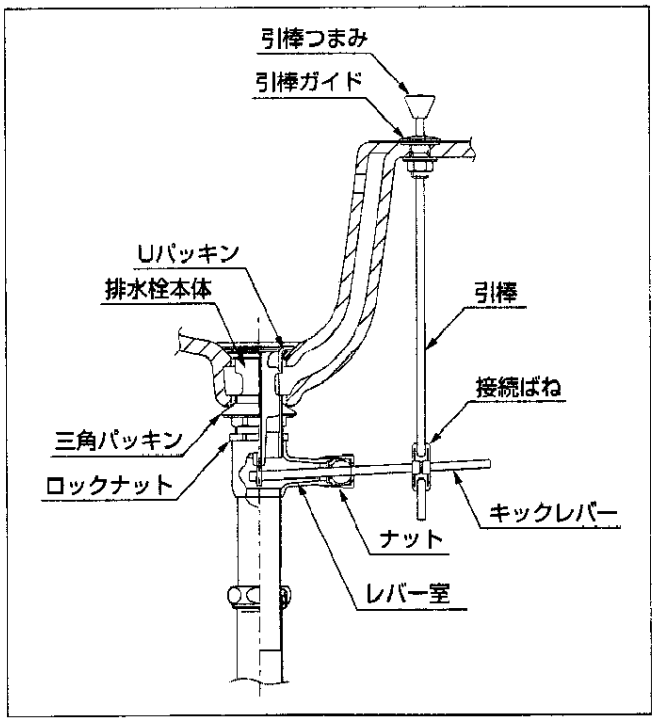
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠注意	
❗	排水栓本体の外周ねじ部に、**メジシール**を塗布してください。 ねじと三角パッキンのすきまから漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

完　成　図

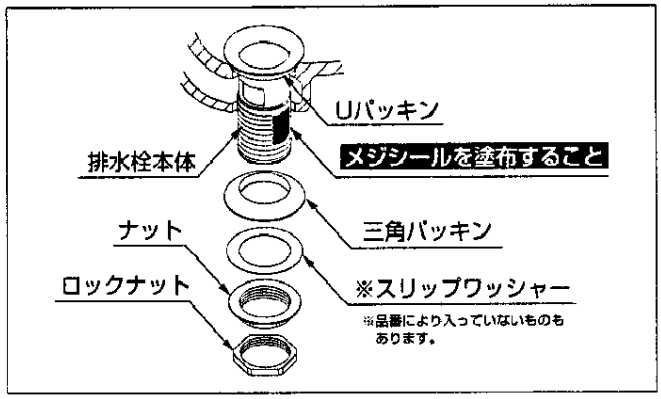


器具の取付け

1．排水栓本体の取付け

①メジシールを排水栓本体の外周ねじ部に塗布してください。

②三角パッキン、スリップワッシャー、ナット、ロックナットの順に締付けてください。

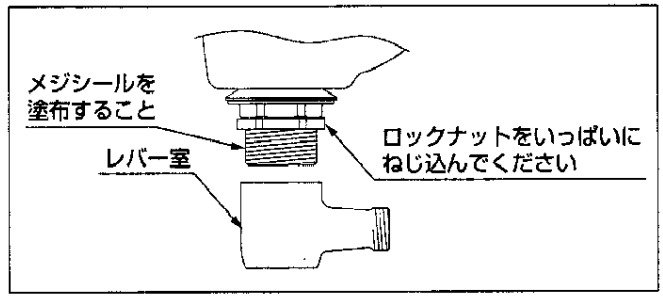


⚠注意	
❗	**三角パッキンの方向**に注意し、取付けてください。 漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗	ナットは、**三角パッキンの弾性を失わない程度**に締付けてください。 強く締めすぎると、陶器を破損し、けがをするおそれがあります。

2．レバー室の取付け

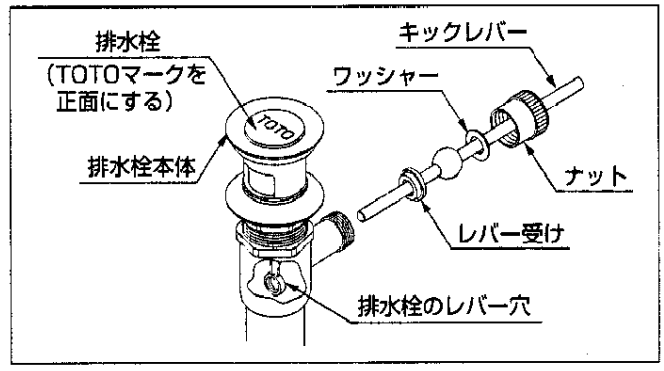
レバー室は止まるまで**いっぱいにねじ込んだ後**、もどしながら方向を合わせてください。

※レバー室のねじ込みが不足すると排水栓の開きが少なくなるため、通常より排水する時間が長くなる原因となりますので、十分にねじ込んでください。



3．排水栓とキックレバーの組立て

キックレバーを排水栓のレバー穴に通しながら差込み、ナットを締付けます。



※**排水栓にレバー穴がないタイプ**の場合は、そのままキックレバーをレバー室に組付け、後で排水栓を上から落し込みます。

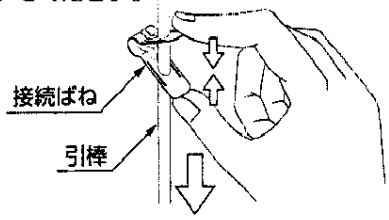
060231S　再生紙を使用しています

2001.12.21

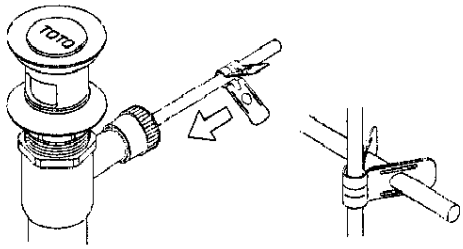
4．引棒の取付け及び調節

〈取付け要領〉

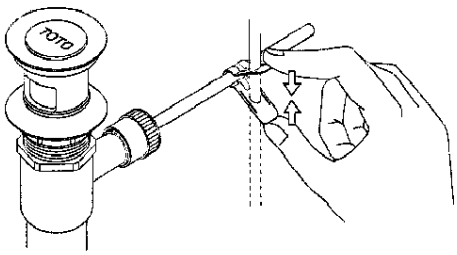
①接続ばねの**端面をつまみながら**引棒から接続ばねを引き抜いてください。



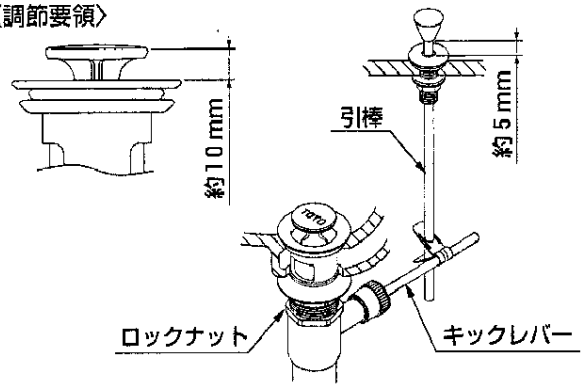
②キックレバーに接続ばねを通してください。



③引棒と接続ばねがうまく接続できるようにレバー室の方向を調整しながら、接続ばねの**端面をつまんで**引棒を接続ばねの穴に通してください。



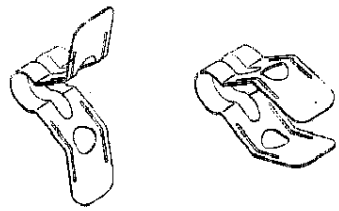
〈調節要領〉



④キックレバーと引棒を、接続ばねで図のように取付けた後、引棒を押し下げたとき引棒つまみ部のすきまが約5mmになるように接続ばねの**端面をつまんで**調節してください。

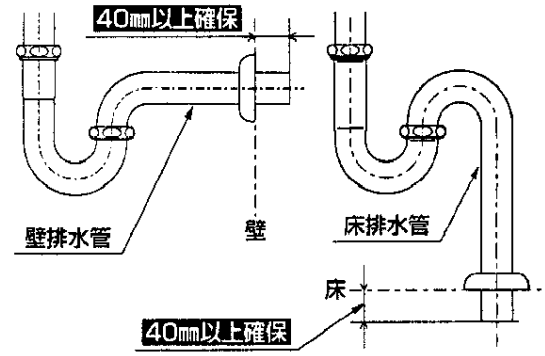
⑤排水栓本体にねじ込んでいるロックナット（つばのないナット）を、**レバー室側へ戻し**、レバー室が回転しないようにするため**締付けてください。**

※接続ばねを図のように、折り曲げないでください。
引棒がずれる原因となります。



5．壁排水管、床排水管の取付け

壁排水管及び床排水管は、施工誤差による取付不良防止のため、長さを長めに設定しております。
よって取付時は、**差し込み代を40mm以上確保し**、パイプカッター・ノコ等にて必要な長さに切断して使用してください。



取付完了後の確認

・取付完了後は2～3度操作して正常に作動するか、確認して下さい。
・排水管の取付が完了した後、陶器ボウル面に水をためてみて、三角パッキン付近及び、各接続部などに漏水がないか確認して下さい。

※排水栓がゴム栓でないものでは、長時間洗面器に水を溜めた際に多少水位が下がる場合があります。

日頃のお手入れと点検

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1．水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
・**TOTO 水あかクリーナー**以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤
・シンナー、ベンジンなどの溶剤
・**TOTO 水あかクリーナー**以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
・ナイロンたわし、ブラシなど
もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

2．水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としに**TOTO 水あかクリーナー**のご使用をお勧めします。
TOTO 水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
お求めはお近くの**TOTOショールーム**もしくは**TOTOパーツセンター**にお尋ねください。

3．軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

⚠注意

定期的に各接続部から水漏れしてないか確認してください。劣化、摩耗などで部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

この施工・取扱説明書は、必ずお客様にお渡しして下さい。